

R7専門部会の構成

令和 6 年度

部会	規模	テーマ
部会Ⅰ (普及啓発)	3回	福祉業界全体のイメージアップ
部会Ⅱ (人材確保)	3回	次世代の福祉人材確保
部会Ⅲ (若手PT)	3回	若手職員の視点を、福祉人材確保対策(普及啓発含む) に反映

令和 7 年度(案)

部会	規模	テーマ
部会Ⅰ (普及啓発)	3回	福祉業界全体の魅力発信 ※委員：実務担当者（若手職員含む）
部会Ⅱ (人材確保)	3回	多様な福祉人材の確保 ※委員：実務担当者（若手職員含む）



現
状

見
直
し
内
容

【普及啓発部会】

- ・ R6年度は「福祉の魅力発信の強化」における福祉人材集中PR月間の企画内容について議論
- ・ 「福祉の魅力発信の強化」では、R7年度も引き続きWEBを活用したキャンペーン等を実施予定
(主な意見) ・ 待遇面についてもこのところの改善されたリアルな様子を若手スタッフから発信してもらうといいのでは
・ ロールモデルやキャリアパスによって成長の経過を示すことが良いのではないか

【人材確保部会】

- ・ R6年度は各主体の次世代の福祉人材確保に向けた取組やその相互連携、効果的な職場体験の実施方法について議論
- ・ 職場体験受入れハンドブックの活用促進や、スタートアップ企業との協働による小中学生向けの取組を実施予定
(主な意見) ・ 職場体験の受入れ等の機会を得るためには、待っているだけではなく、地域との接点を積極的に持つことが重要
・ 中学生に実施した体験授業ではクイズ形式でやるほうが理解が深まるほか、若い子はICTとかデジタルの関心が強い

- ・ R7年度は、普及啓発部会及び人材確保部会について「若手職員を含む実務担当者」を委員とすることにより、より実効性のある議論を展開（R6専門部会「若手PT」を他の2部会に統合）
- ・ 若手のみ・若手以外のみで議論し、内容を他の部会と共有するのではなく、一同に会することでより多面的な視点を取り入れ、相乗効果を生むことで議論の効果を一層高めていく